

ほけんだより プール特別号

平成26年 保健室

今年も水泳の授業が始まりました。子どもたちが安全に水泳の授業に参加できるようにするためにも、プールで流行る感染症の予防に努めたいものです。

プールで感染しやすい病気

★咽頭結膜熱（プール熱）

高熱、喉のはれ、結膜炎、
首のリンパのはれと痛みがある。



★伝染性軟属腫（水いぼ）

○プールでは、ビート板などを介して感染する。
○1～10 mm大の白色のいぼができ、かゆみがある。

★流行性角結膜炎（はやり目）

○主に手を介した接触により感染する
○充血、目やに、目がごろごろする、発熱がある。



★伝染性膿痂疹（とびひ）

○菌による皮膚の感染症で、
体のあちらこちらに広がっていく病気。
○水ぶくれ、かさぶたができる。



★アタマジラミ症

○タオルやクシ、頭髮の接触などにより感染する。
○頭部のかゆみ、掻きすぎによる皮膚炎がある。



★急性出血性結膜炎

○涙、目やにに触れた手などから感染する。
○目の痛み、目やに、充血、結膜下出血がある。

★ 咽頭結膜熱は、出席停止になります。流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎は、病状や医師の判断により出席停止になります。感染症の拡大を防ぐためにも、症状のある場合は病院を受診し、医師から「プールには入らないように」等の指示があった場合には、必ず学校に連絡をくださるようお願いします。

感染予防の
ポイント

- しっかり手洗い・うがいをする。
- タオルやクシの共有はしない。
(家族であっても、共有しない。)

